

ヒトメディア、ミネルバ大学から日本国内初となるインターン受入を開始 ～世界最先端の次世代大学による日本でのプロジェクト学習を支援～

株式会社ヒトメディア（本社：東京都港区、代表取締役：森田 正康、以下：ヒトメディア）は、ミネルバ大学（Minerva Schools at KGI、本部所在地：米国カリフォルニア州サンフランシスコ、代表者：Ben Nelson）より、日本国内で初となるインターンシップの受入を開始しました。

ミネルバ大学について

ミネルバ大学（Minerva Schools at KGI：本部所在地：米国 カリフォルニア州サンフランシスコ、代表者：Ben Nelson）は2014年9月に開校した創立3年目の4年制総合大学です。設立にはハーバード大学をはじめとするアイビー・リーグの学長、学部長らが参画し、「高等教育を再創造した大学」として、既に教育関係者、『The Economist』、『The Atlantic』等のメディアから高い評価を得ています。

ミネルバ大学の授業は、オンライン・プラットフォームを利用するため、世界中のどこからでも受講が可能となっています。一方で、学生たちは在学中の4年間で世界7カ国の主要都市を巡り、現地の企業・NPO・行政・研究機関等と協働したプロジェクト学習・インターンに携わります。こうした既存の大学では得られない経験を在学中に積むことで、未知の分野でも活躍できる実践的な人材を育成しています。

また、学生への経済的な負担の軽減にも積極的に取り組んでおり、学費は一般の米国私立有名校の1/3以下ともなる年間\$12,500、合格者全員を対象とした財務支援制度も用意されています。

世界中のどこからでも受講できるオンライン授業、そして経済的なハードルを低くすることにより、設立3年目にして、留学生比率は83%、学生の出身国が54カ国となる多様性を実現しています。2017年度の入試では、世界160カ国以上から20,427人が受験し、僅か1.9%の合格率ともなる厳しい審査を経て385名が合格しました。

6月より国内最多となる4人のインターン生を受入

ミネルバ大学では、Apple、Amazon、Google、スタンフォード大学デザインスクール、アショカ財団といった多くの企業・大学・研究機関がインターン機会の提供を受けています。その90%から、過去に受入した、4年生を含む既存大学の学部インターン生よりも高い満足度評価を得ています。

日本企業では2016年にFujitsu Laboratory of Americaで実績があり、日本国内でのインターンシップ受入は今回が初の事例となり、ヒトメディアでは国内最多人数である4人の受入を実施します。



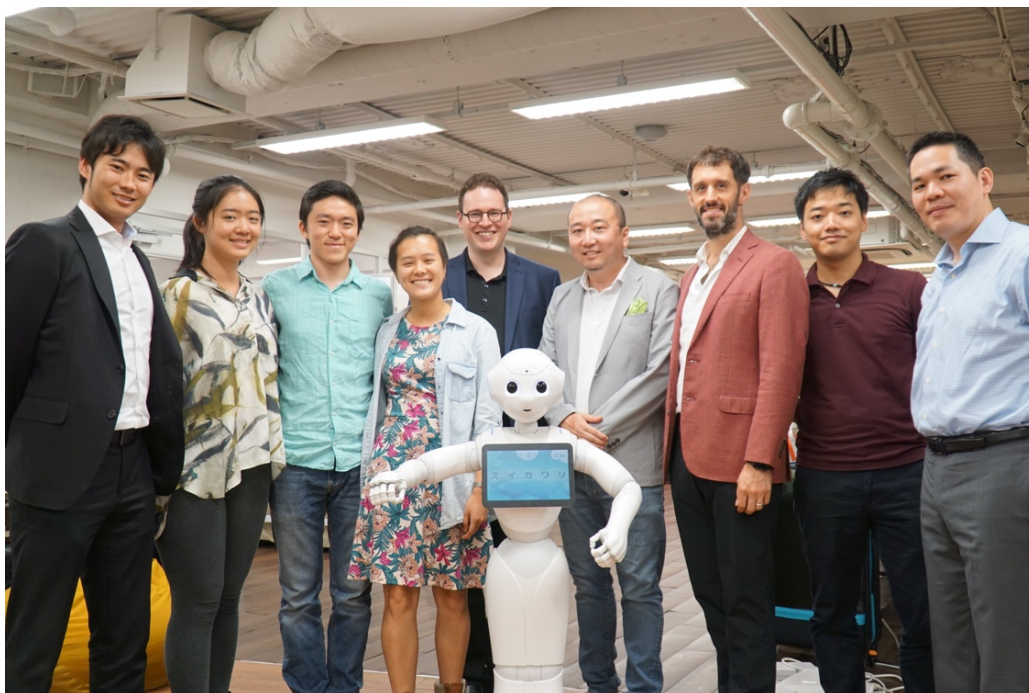
ミネルバ大学代表のBen Nelson氏(右)と
ヒトメディア代表の森田正康(左)



ミネルバ大学のインターン生とのディスカッション風景

受入の背景と目的

2016年より経済産業省でも外国人受入インターンシップ事業が開始し、日本企業のグローバルビジネス拡大に向けての施策が盛んになっています。ヒトメディアでは以前より、国内だけでなく、国外のベンチャー企業も対象にインキュベーション事業を積極的に行っていました。「人の成長に、かかわる」というビジョンのもと、次世代の大学ともいえる同校を支援し、インターン生へ社内の技能・ノウハウを提供していきます。またその一方で、外国人と働くことで社内の異文化コミュニケーションを活性化し、外国人採用に向けた海外大学とのネットワークを構築してまいります。



ミネルバ大学 (<https://www.minerva.kgi.edu/>)

名称：Minerva Schools at KGI

本部所在地：米国カリフォルニア州サンフランシスコ

設立：2014年

代表者：Ben Nelson

事業内容：グローバル市民輩出を目的とした大学運営

株式会社ヒトメディア (<http://www.hitomedia.jp/>)

名称：株式会社ヒトメディア

設立：2006年12月

資本金：3990万円

代表者：代表取締役社長 森田 正康

所在地：東京都港区元麻布三丁目1番35号VORT元麻布4F

事業内容：教育領域、異文化領域に特化したインキュベーション事業

このリリースに関するお問い合わせ 株式会社ヒトメディア
TEL：03-3401-7001 Mail：press@hitomedia.jp